

2006 年度

科目名	対象学科・学年 文学部コミ1回生 人間人社1回生	担当者
人間と社会 A		井上 徹
授業テーマ 人と社会を考える。		
授業の概要と目標 人と社会の関係について、心理学、社会学、社会心理学の分野から代表的な考え方を紹介し、各自が人と社会を考える上での基本的な知識を身につけることを目的とする。さらに日本文化の特徴と日本人のパーソナリティ、現代の情報化社会が人に与える影響についても考察する。この講義を通して、社会科学の基本的な用語、概念を整理し、理解することをめざす。		
評価方法 出席状況・随時提出するレポート（30％）＋ 学期末筆記テスト（70％） 授業へ取り組む姿勢、理解への意欲度も考慮します。私語は授業妨害とみなします。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
1. 授業へのオリエンテーション	大学の授業の特徴、授業の受け方、本講義の内容等について。	
2. 人の発達と社会化（1）	ひとはどこまで動物か	
3. 人の発達と社会化（2）	フロイトの考え方。生きるエネルギーがすべての源	
4. 人の発達と社会化（3）	条件付けと学習。すべては白紙に書き込むように。	
5. 人の発達と社会化（4）	子どもはみずから、周囲への対応の仕方を身につけていく。	
6. 文化とパーソナリティ（1）	デュルケームの考え方。個人の心理と社会の心理	
7. 文化とパーソナリティ（2）	親の養育態度と子どものパーソナリティ	
8. 文化とパーソナリティ（3）	社会的性格。フロム、リースマンの考え方	
9. 文化とパーソナリティ（4）	西洋文化と東洋の文化	
10. 日本人のパーソナリティ（1）	日本人のパーソナリティの深層。阿閨世コンプレックスとは	
11. 日本人のパーソナリティ（2）	一体感社会の功罪	
12. 日本人のパーソナリティ（3）	カルチャーショックと異文化理解	
13. 情報化社会と人（1）	メディアの変遷と人の感覚の変化	
14. 情報化社会と人（2）	メディア社会における人の心理	
15. 情報化社会と人（3）	情報化とメディアリテラシー	